



黄河の森

K F G

発行／特定非営利活動法人
黄河の森緑化ネットワーク
常務理事・事務局長／矢野正行
編集責任者／小川良太
〒650-0011
神戸市中央区下山手通り2丁目12-11
神戸華僑会館内
TEL・FAX:078-392-8328
E-mail:kouganomori@s6.dion.ne.jp
URL:http://www.k3.dion.ne.jp/~kougakfg
IP:05031111874



今年の植え付けは機械を導入



ああ あの大河 太古より 流れる誇り
ああ その緑 永久に たやさぬ心
燃えたつ生命 ここに ここに

CONTENTS

- P.2 第14回 通常総会が開催
- P.2 オトカ前期からの植え付け状況報告
- P.2 蘭州植樹ツアーへのお誘い
- P.3 庭木の健康診断17
- P.3 絵本からのエコ・メッセージ24
- P.4 中国便り「中国における老後生活と家族」

第14回 通常総会が開催されました

5月27日神戸市中央区の中華会館にて黄河の森緑化ネットワークの第14回総会が開催されました。

昨年度の事業報告はオトカ前旗ハリサリ村での第2期3年間で総面積100haの事業を終了し、国内事業では国土交通省六甲砂防事務所から苗木と添え木等の提供を受け、神戸市東灘区住吉山手地区での植樹活動状況の報告が行われました。

17年度事業計画は内モンゴルへの植樹費486万円・蘭州市への支援金30万円を柱とする総事業費686万円の予算案が審議・承認されました。オトカ前旗の事業は7年目を迎え今年度から3地点目のフルフカサ村での活動となります。同地はオトカ前旗地区の南東部に当たり、陝西省との境界にも近い地区です。実施に当たっては今年度も日中緑化基金から助成金を受けることになっています。蘭州市における緑化支援事業は今

年より第5期事業となります。この事業も昨年度と同様に会の自己資金より30万円の支援活動となります。

9月のワーキングツアーで現地を訪問する際に事業協定書の締結を行う予定にしています。

国内活動は神戸市住吉山手地区での植樹活動を継続します。同地では3月の植樹と6・9月の補植・下草刈りと年間3回の活動を行っています。この事業も10年余りになり、初期に植えた樹は成長し樹間に入ると日の光も届かないほどになっています。多くの会員の方の参加をお待ちしています。

総会後は兵庫県立考古博物館の岡本一秀氏による「遺跡出土品とその科学的保存について」と題して講演をいただきました。国内の発掘調査による出土品には土器以外にも、金属・木製品を含め多種な素材からできているものがあります。そのうち

木製品については建築材から食器用具・農具など、人の生活にまつわる様々な品が出土します。そしてこれらの品々が今日まで形を保っていたのは、地中において地下水に浸かり空気から遮断されていたためです。

しかし、長年の水浸かり状態のため細胞内の樹脂分が脱け、空気中に出し乾燥すると変形・収縮あるいは粉砕してしまいます。これらの木製出土品を歴史資料として保存活用するためには、流失した樹脂に代わり合成樹脂を補ってやる必要があります。この処置をするためには小さいものでは数か月・半年から建築材のように大型の物では年単位の時間を要するとのことでした。この他、金属製品についても酸化・腐朽防止の科学的処理の話や、様々な出土品の紹介と共に話をさせていただきました。

オトカ前旗から植え付け状況の報告が届きました

7月に入りカウントパートのオトカ前旗婦女緑化協会より春の植え付け作業状況や、3ヶ月たった苗の様子の写真が送られてきました。昨年までの事業地は強風による砂の移動により形成された砂丘が発達した地形でした。それは海面に浮かぶ波頭のように見え、丘の上に立つとはるか遠くまで幾重にも重なっていました。しかし今年の第3期地区のフルフカサ村の事業地は、多少の傾斜や凹凸があるものなだらかな土地です。このため今年の作業にはこれまでに見られなかった、トラクターによる植え付けが行われました(巻頭写真)。柔らかい砂地とは言え苗を植える深さ数10cmの溝を、延々と30haに渡って掘るのは重労働です。こうして植えられた苗も約3ヶ月を経て枝葉を伸ばしてきた様子が見て取れます。今年はまだ強風等の被害は伝わってきておりませんが、今後は乾燥・野ウサギなどによる食害などの被害が多少なりとも予想されます。これからも見守りと支援が必要となります。



①杭の設置 事業範囲を確定し基準位置を明示する。今年の事業面積は30ha。



②トラクター後部に乗って溝に苗を投入



③人手による植え付け



④3ヶ月経って伸びてきた枝葉

六甲山クリーン&グリーン活動

六甲山植樹(下草刈り) - 14期植樹活動 -

- 開催日時 平成29年9月19日(土) ※雨天中止
下草刈り作業
(雑草抜き・手鎌による刈り取り)
- 集合 JR住吉駅南広場(午前9時)
- 服装 長袖、帽子、運動靴
- 持参品 弁当、飲み水、軍手、雨具、タオル

◎参加できる方は事務局までお知らせください。

2017年 植樹ワーキングツアー参加者募集!!

今回は蘭州市第5期植樹地での植樹と、蘭州市内で日本語を学ぶ学生たちとの交流会を実施します。その後は蘭州市からバスで固原一経川一慶川一彬県を経て西安市に向かいます。この間、北魏時代(西暦4~6世紀)の石窟寺院・ヤオトンなどを見学します。

- *期間 2017年9月9日(土)~9月15日(金) 6泊7日
- *行程 関西空港-西安空港-蘭州市-固原-経川-慶川-彬県-西安空港-上海浦東空港-関西空港
- *旅費 189,000円(諸費用別)

【問い合わせ先】(株)華聯旅行社 TEL.078-391-5185

庭木の健康診断 ⑰

庭木の手入れ

樹木環境研究会「ミルフィーユの会」

天野孝之

有毒植物の紹介は次回に回し、今回は近年関西にも流行りだした病虫害に注目します。

クビアカツヤカミキリ：この害虫は名前の通り首の周りが赤色をして、体はツヤのある黒色で体長3-4cmと大型のカミキリです。このカミキリが害虫として困った点は、繁殖力が大変強く、1匹の雌が100-300個もの卵を産むことです。ふ化した幼虫は木の幹に穴を掘って侵入し、内部を食い荒らします。この時、侵入した穴から多量の木屑を含んだ虫糞を穴の外に出します。この虫糞が発見の目安になります。基本的には孵化して2年後の夏に成虫となって幹の中から脱出し、交尾した後産卵するというサイクルを繰り返して個体数を増やします。このカミキリが加害するのは桜を含むバラ科の樹木で、モモやウメなどでも被害が報告されています。このカミキリは関西圏では大阪府、徳島県で見つかっています。既に桜やモモが枯れる被害が出てきていて、早急な対策が必要です。

ウメ輪紋ウイルス病：ウメ輪紋ウイルスは、英語のプラムボックスウイルスの頭文字を取ってPPV

とも言われています。ウメ、スモモ、モモ、アンズ、ユスラウメなど桜の仲間の果樹・花木に感染する植物ウイルスですが、観賞用の桜(ソメイヨシノやシダレザクラなど)には感染が確認されていません。モモやスモモなどで、果実に斑紋が出来たり、早期に落果するなどの大きな被害が報告されています。葉に緑色の薄い部分ができる症状やドーナツ状の輪ができる症状(輪紋)を現すことがあります。果実が変形して、収穫量が大きく減少するなどの被害が報告されており、放置すれば国内の果樹生産に影響する恐れがあります。この病気はアブラムシが媒介しますので、アブラムシの駆除や防除が必要です。国を挙げて防除対策が取られていますので、万一、ウメ、モモなどの葉や実などに見慣れない症状が見つかった場合には、速やかに府県や市町村役場に連絡してください。

クスベニヒラタカスミカメ：長い名前ですがあの臭いにおいのするカメムシの仲間です。2015年に国内に侵入した中国原産の外来種で急激に近畿地方に広まってきました。この害虫の幼虫、成虫と



もにクスノキの葉から吸汁し、加害された葉には褐色のまだらな模様ができたり、斑点をつくります。クスノキが枯れた事例はありませんが、本種が侵入して間がないためだと考えられています。時間がたつうちに弱った木が増えてどんどん枯死していくことも考えられます。2015年に発見されてから2年とたたないうちに、爆発的に増えていますが、そのうち天敵等が出てきて自然に沈静化すればよいのですが、簡単には収まってくれないかもしれません。写真は、被害を受け枯れ枝が目立つクスノキです。

これらの被害を見つけられた場合、前述の通り役場に届けるか、私に連絡ください。

絵本からの エコメッセージ 24

「100万回生きたねこ」

畑中弘子(児童文学者)

100万回も生まれかわりを繰り返した猫の話です。ある時は王様に飼われ、船乗り、サーカス、泥棒、お婆さんなどなど、100万人の人たちと共に暮らしました。飼い主たちはいつも猫が大好きになり、彼が亡くなると涙を流しました。でも、猫はただの一度も泣いたことがありません。どの飼い主をも、好きになれなかったからです。

そしてある時、彼は初めて、誰にも飼育されていない「のらねこ」になりました。立派なとら猫でしたから、沢山のメス猫たちが彼の元にやってきました。彼が好きになったのは、自分のことを見向きもしない白い猫でした。やがて2匹は両想いになって、子供が生まれ、育てていきます。しかし、白い猫がなくなってしまうのです。彼は初めて涙を流し、そして彼女の隣で静かに動かなくなりました。100万回生きた猫はもう生まれかわることはありませんでした。

いつの世にあっても本当に大切なものは愛情なのですね。自然を愛し、人を愛し、そして自然と人から愛されて生きていきたいものです。



佐野洋子 作・絵
講談社

中国
便り

中国における老後生活と家族

楊 玉 麗
(中国 銀川市在住)

2016年の時点で、中国人の平均寿命は76.4才です。人々の寿命が延びたことにより社会の高齢化が進み、中国は職場の定年制度の弾力的な運用を実行するようになりました。以前は男性の定年が60歳、女性は50～55才で退職でしたが、一部の職場では女性の退職年齢を60才に延長するようになりました。将来は退職年齢が65才になるだろうと予測されています。何才で退職をしようと、その後の高齢者の生活はどのようなものになるのでしょうか？皆様に筆者の身近な人の例を紹介しましょう。

私の職場の一人の女性看護師は3年前に退職しました。彼女は当時55才でした。退職をすると、その直後に孫が誕生しました。息子の嫁は5ヶ月の産後休暇が終わると職場に復帰しました。それに伴い彼女は孫の面倒を見ることになりました。そのため一切の自分のための暇な時間が無くなりました。退職前の彼女は流行の恰好をし、見た目は40才過ぎにしか見えませんでした。しかし、数日前に見かけた際はひどく老け込み、精神的にも状態が悪そうでした。彼女は「あなた方はできることなら早期に退職をしない方が好い。退職後は気が緩み、精神的緊張感もなくなる。孫の世話による身体的な不具合だけでなく、年を重ねることによる夫婦間の些細な意見の違い、そこから生まれる行き違い、そして考え方の相違によることが最も主要なことだ。」と私たちに話をしてくれました。退職後の彼女には、多くの悩みを抱えているようでした。

私の親戚のある女性は印刷工場で

働いていましたが、50才で退職しました。彼女の退職後の生活は楽しそうでした。私の憧れでした。彼女は孫の世話をすることも無く、毎日家で美味しいものを料理し、買い物をし、美容をし、友達に会い、毎日夕刻には広場でダンスをし、時には外国旅行に行ったりしています。退職後2年が経っていますが、彼女は以前より若々しくなり、毎日楽しく過ごしています。毎日家族や友達に美味しいものを作り・届けて皆と楽しんでいます。彼女の退職後の生活は大変楽しいものになっています。

私は腫瘍病棟で勤務し、大変多くのガン患者を見てきました。その中で最も人数が多いのは高齢者です。中国の西部地区一寧夏地区では化学治療施設が充分ではありません。化学療法を受けるためには入院しなければなりません。入院生活には家族の付き添いが必須です。最初に、治療を受けるために患者を病院に送り届けるのにも人手が要ります。入院期間中の毎日三度の食事は家族が用意し、毎食事時は院内が忙しくなります。家族は美味しい食事をベッド際に運びます。この時が病人のところが最も和み、幸福を感じる時間です。もちろん病院にも食堂があります。一人で歩いて行ける病人、自分では動けない老人、あるいは家族がたまたま来なかった場合には助けになります。一人一人の入院患者にとって家族による世話は不可欠です。「自分の老後のために子を育てる」これは中国人の心深くに染みついた考えです。これは今日の中国の現状にとっては合理的なものです。私

が見る、身の回りの世話をしてくれる家族のいない高齢患者は、本当に孤独でかわいそうで悲惨です。これらの大多数の人は最後まで治療をすることができないため、完治する前に治療を中断してしまいます。

中国では1982年から「一人っ子政策」を開始しました。一人っ子の両親は老境に入ると身近に子供が居ないため、時には生活できなくなり養老院生活にならざるを得ません。中国の文化では老人は家で面倒を親のものとの考えが強いいため、子にとって老両親の面倒を親することは面子の問題でもあるのです。養老院で生活する老人の大多数の心中は、扶養してくれる人の無い者の場所だと思っています。止むを得ず養老院へ入ったとしても、子供に棄てられたのではないかとの思いがあります。近年中国では「一人っ子政策」を廃止し、全面的に2人まで認める政策にしました。これは間違いなく国家の高齢者扶養負担の軽減になり、同時に子・孫また多くの親しい人に囲まれるという中国人の一つの幸福価値感とも合います。

退職後の生活をまとめると、いくつかあります。孫と同居する・自由な楽しみのある生活、あるいは病を得ての入院生活・養老院での生活など、当然これらにはそれぞれ段階がありますが孤独ではありません。

退職後の数年は健康でのんびりと暮らし、その後は孫の面倒を親ながら年をとり。それからは子供たちの世話にも養老院にも入ることなく、人生の晩年は自立した生活を我が家で穏やかに過ごすのが私の希望です。

会費・緑化支援金等協力者のお名前 (2017.1.1～2017.6.30 現在)

幸田悦麟	陳挺	村上鷹夫	岩崎和代	吳体悦	永倉弘一	池田久仁子	安本昭久
西川鎮江	中谷安廣	江租順	三角修一	堺屋和夫	陳明德	愛新翼	大谷晁一
福永久子	馬文璧	葉於美	魏浩順	矢野正行	篠原久美子	石進通	中華会館
文啓財	李雲精	楊震雄	劉明	芹田健太郎	青木明	原博司	三江会館
宮島昭周	石玉球	劉友榮	吉川和正	四方田文夫	金啓功	畠宏一郎	
南信弘	李琛	谷川清隆	青山史眞子	李家昌	半田憲治	陳瑞華	
王華銀	福田幸枝	平野勲	陳澤	池田智	莊天輝	黃禹	
村井隆行	蔣政茂	何慧美	稲木稔	竹本由美	出光博三	許永坤	
村井紅	吳慶藝	佐藤正子	鄭正勝	中井誠一	王永發	一木仁	

●前号で掲載できなかった会員も含まれています。

●順不同・敬称略

